

平成27年度

音更町公害対策審議会議案

日 時 平成27年5月21日(木)
午後1時30分
場 所 音更町役場2階 庁議室

音 更 町

次 第

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 町長あいさつ
- 4 会長及び副会長の選出について
- 5 会長あいさつ
- 6 議 事
 - (1) 平成26年度公害苦情の状況について
 - (2) 平成26年度環境調査の測定結果について
 - ア 河川水質調査
 - イ ゴルフ場における水質調査
 - (3) その他
- 7 くりりんセンター視察
- 8 閉 会

会長及び副会長の選出について

音更町公害防止条例第39条に基づき、次の役員を選出願います。

会 長

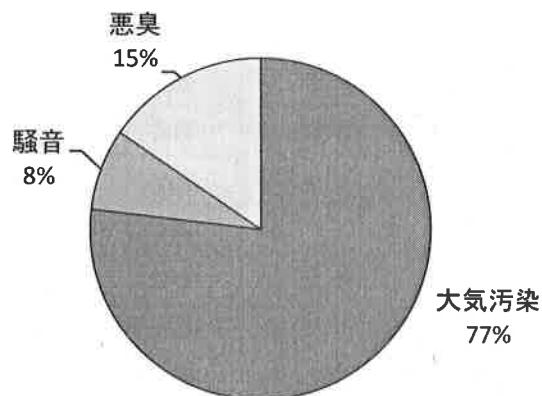
副会長

(1) 平成26年度公害苦情の状況について

平成26年度の公害に関する苦情件数は13件で、大気汚染が10件、騒音が1件、悪臭が2件となっています。大気汚染については、野焼きが大半を占めています。

1 公害種類別件数

大気汚染	10件
水質汚濁	0件
土壌汚染	0件
騒音	1件
振動	0件
地盤沈下	0件
悪臭	2件
その他	0件
合計	13件



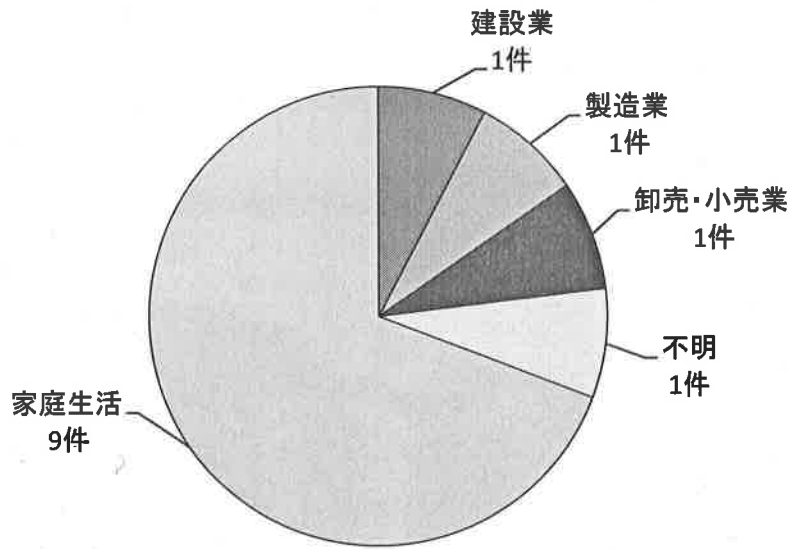
2 月別苦情受付件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	2	0	3	3	3	1	0	0	0	0	1	13

3 苦情の処理件数

種類/年度	直接処理	警察へ移送	国等の機関へ移送	翌年度へ繰越	その他	合計
大気汚染	10	0	0	0	0	10
水質汚濁	0	0	0	0	0	0
土壌汚染	0	0	0	0	0	0
騒音	1	0	0	0	0	1
振動	0	0	0	0	0	0
地盤沈下	0	0	0	0	0	0
悪臭	2	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0
合計	13	0	0	0	0	13

4 発生源別苦情件数

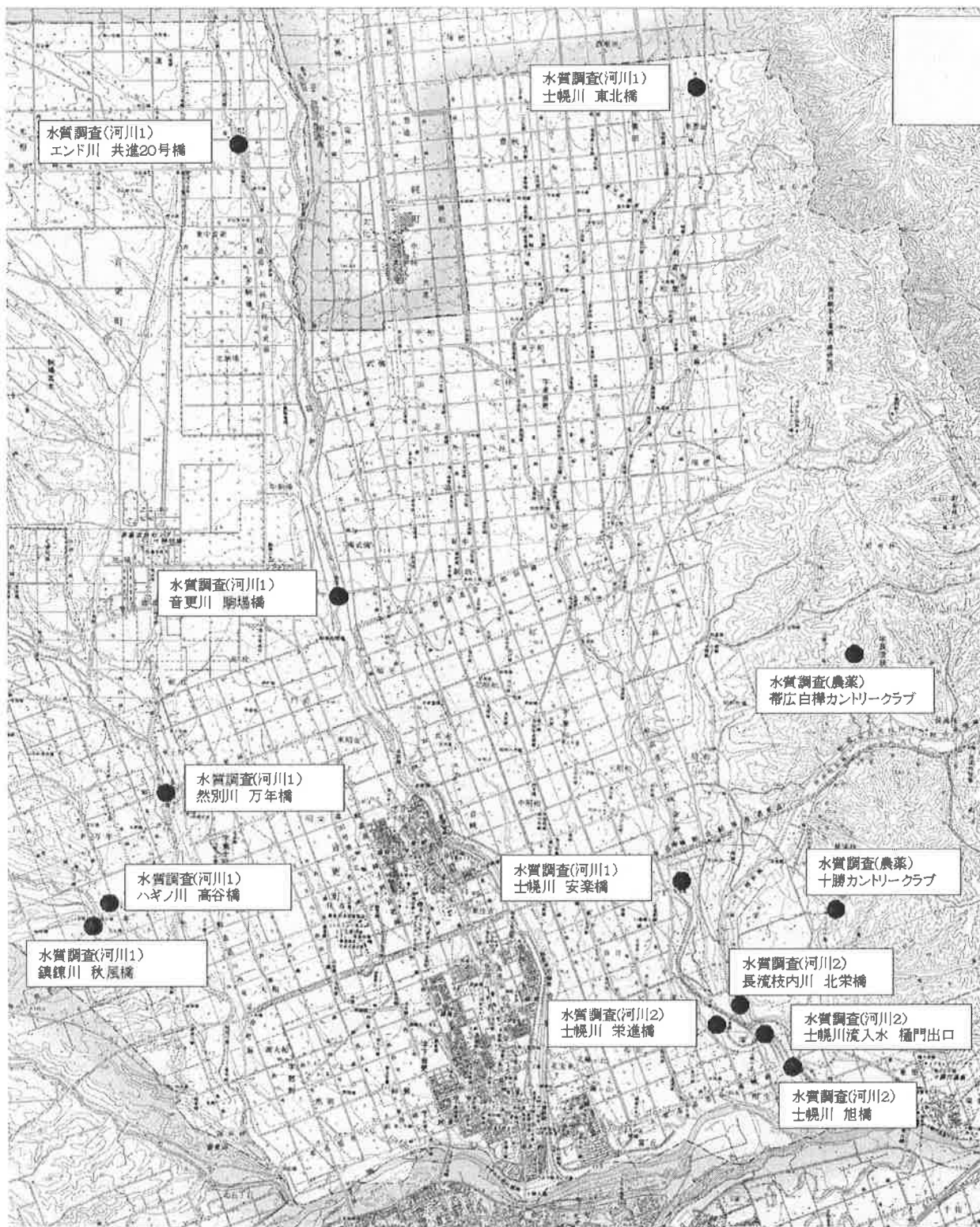


5 年度別公害苦情の件数

種類／年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
大気汚染	24	14	5	6	10	11	10
水質汚濁	0	0	0	0	0	0	0
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0
騒音	1	1	0	0	0	0	1
振動	0	0	0	0	0	0	0
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	0	0	1	1	0	2	2
その他	5	0	0	0	0	0	0
合計	30	15	6	7	10	13	13

(2) 平成26年度環境調査の測定結果について

<平成26年度環境調査測定地点図>



ア 河川水質調査

町内の公共用水域の水質の状況を把握するため、十勝川水系に属する音更川、然別川、士幌川、音更川の支流であるエンド川、然別川の支流である鎮鍊川、ハギノ川等7河川11地点で年4回の水質調査を行いました。

このうち音更川、然別川及び士幌川については、いずれも「生活環境の保全に関する環境基準」において河川A類型に指定されています。また、その他の調査対象河川等については、環境基準は設定されていませんが、それぞれ河川A類型に指定されている河川に合流することから、これと同等以上の水質であることが望ましいと考えられるので、全ての調査対象河川等について環境基準（河川A類型）と比較して評価しています。

今年度の水質測定結果については、表1・2のとおりとなっています。環境基準類型指定河川である、音更川（駒場橋）、士幌川（安楽橋・東北橋）、然別川（万年橋）については、全項目で年間平均値（BODは年間75%値）が環境基準を満たしており、良好な河川環境が保たれていることが確認されました。また、類型指定のない測定地点については、一部BOD及び大腸菌群数において環境基準を超過していましたが、前年度よりは改善されていることが確認されています。

表1 河川1水質測定結果（平均値）

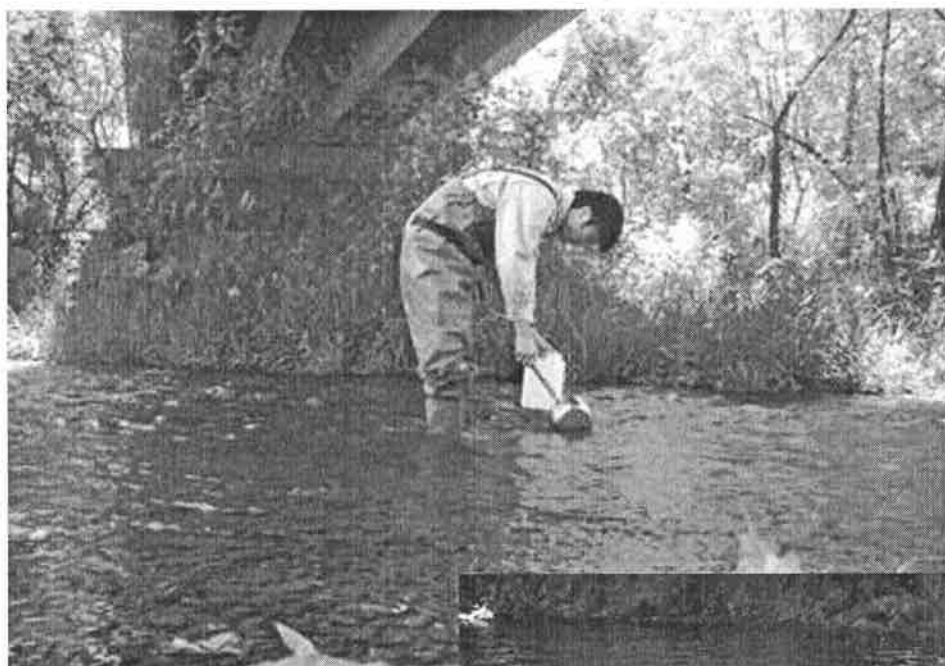
項目(単位)		調査地点	エンド川	音更川	士幌川	士幌川	然別川	鎮鍊川	ハギノ川	環境基準
		共進20号橋	駒場橋	安楽橋	東北橋	万年橋	秋風橋	高谷橋	(類型A)	
分析項目	河川に関する生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	7.5	8.4	8.0	8.4	7.9	7.7	7.8	6.5~8.5
		生物化学的酸素要求量(BOD)	4.2	0.8	0.5	0.8	0.5未満	2.1	0.6	2以下
		浮遊物質(SS) (mg/l)	3	3	3	2	6	23	4	25以下
		溶存酸素量(DO) (mg/l)	10.4	13.1	11.9	12.3	12.2	11.3	11.8	7.5以上
		大腸菌群数 (MPN/100ml)	1670	400	790	330	500	1300	780	1000以下
分析項目	その他の項目	全窒素 (mg/l)	3.3	1.9	6.7	5.2	2.5	2.3	2.0	-
		全リン (mg/l)	0.33	0.12	0.042	0.057	0.078	0.4	0.02	-
		硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	1.8	1.7	6.3	5.0	2.4	1.5	1.9	-
		アンモニア性窒素 (mg/l)	0.76	0.05未満	0.06	0.05未満	0.05	0.30	0.05未満	-
類型		-	A	A	A	A	-	-		

※ 部分は、環境基準(類型A)を超過したものの。

表2 河川2水質測定結果（平均値）

項目(単位)		調査地点	士幌川 旭橋	士幌川 栄進橋	長流枝内川 北栄橋	士幌川流入水 樋門出口	環境基準 (類型A)
分析項目	水素イオン濃度(pH)		8.0	8.1	7.8	8.2	6.5~8.5
	生物化学的酸素要求量(BOD)		0.7	0.6	1.0	4.7	2以下
	大腸菌群数 (MPN/100ml)		2330	190	2570	50930	1000以下
類 型			A	-	-	-	

※ 部分は、環境基準(類型A)を超過したもの。



試料採取の様子

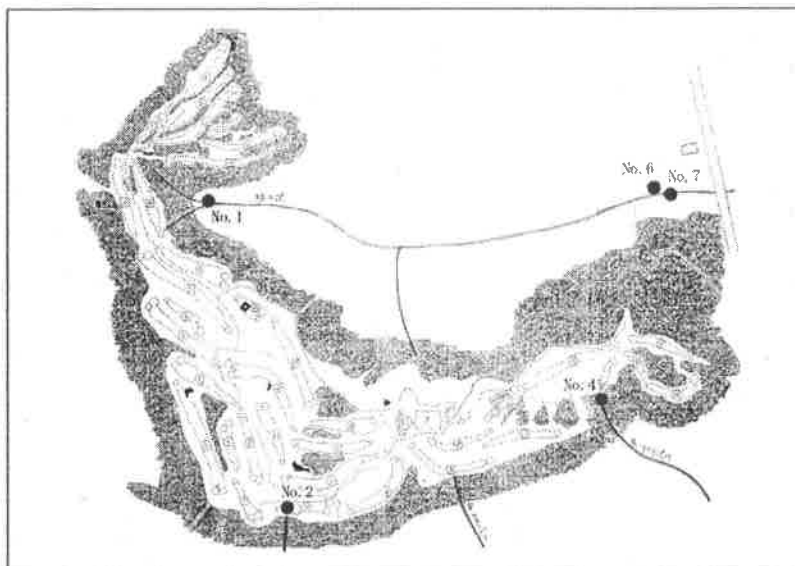


イ ゴルフ場における水質調査

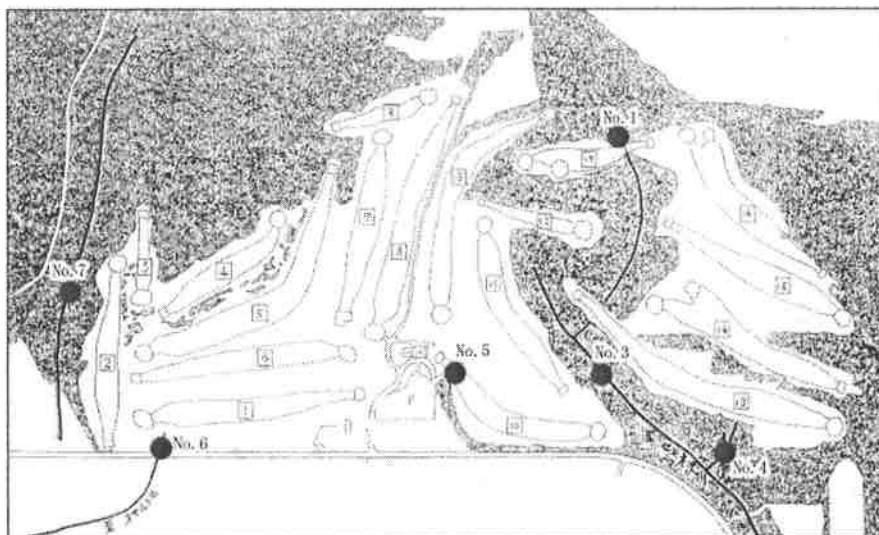
帯広白樺カントリークラブ及び十勝カントリークラブからの排水（各6箇所）について、初冬に散布する農薬中に含有する雪腐病予防の殺菌剤（オキシシン銅）の測定を行いました。なお、採水は農薬散布後6日後以内に行っています。

測定の結果（表3参照）、いずれの調査地点についてもオキシシン銅の測定値は定量下限値未満であり、農薬の流出は認められず、両ゴルフ場で使用された農薬による公共用水域への水質的影響はないことが確認されました。

<ゴルフ場農薬採水地点図>



帯広白樺カントリークラブ



十勝カントリークラブ

表3 水質測定結果（ゴルフ場農薬）

調査地点 項目(単位)	帯広白樺カントリークラブ						指針値 (環境省)
	No.1	No.2	No.4	No.6	No.7	No.8	
試料名	河川水	池水	河川水	地下水	河川水	河川水	-
採水年月日	H26.11.26	H26.11.26	H26.11.26	H26.11.26	H26.11.26	H26.11.26	-
採水時刻	14:25	14:10	13:50	14:50	14:56	15:10	-
天候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	-
気温(℃)	3.0	3.6	3.8	1.9	1.9	1.9	-
水温(℃)	4.4	4.6	4.9	8.5	2.7	3.0	-
オキシシン銅(mg/l)	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.4以下

調査地点 項目(単位)	十勝カントリークラブ						指針値 (環境省)
	No.1	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	
試料名	池水	河川水	河川水	池水	池水	河川水	-
採水年月日	H26.11.21	H26.11.21	H26.11.21	H26.11.21	H26.11.21	H26.11.21	-
採水時刻	10:04	10:30	10:36	10:18	10:49	11:04	-
天候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	-
気温(℃)	1.8	1.8	1.8	1.9	2.7	2.6	-
水温(℃)	3.9	1.9	2.5	5.1	4.6	0.9	-
オキシシン銅(mg/l)	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.4以下